

商品企画・ものづくり型ワークショップ

カインズ & 早稲田大学
プロフェSSIONALS・ワークショップ 2018

“カタチづくることで アイデアの実現性を高める「商品企画・ものづくり型ワークショップ」”

「商品企画」と「ものづくり」で、新しい生活スタイルを
デザインする新商品を生み出そう！

この WS では、「アイデアを提案に留めず、カタチにすること」までを目指します

皆さんは日常の中で、「こんな商品があれば便利なのになあ…」、「この商品のここが不便だなあ…」といった、些細なイライラやモヤモヤを感じる場面はありませんか？このワークショップでは、そんな日常の些細なイライラやモヤモヤを発想の原点とし、最終的には生活スタイルそのものを変えられるような新しい商品を生み出すことを目指します。カインズ（ホームセンター）を舞台とし、実際に店舗で販売することを目標とした実践的な商品企画に取り組んでいただきます。

また、本ワークショップでは単にアイデアやコンセプトを考案するだけでなく、アイデアをカタチにして、実際に手に取ることで次の発想につなげる点が大きな特徴です。アイデアをカタチにするには、本格的な試作品製作に限らず、例えば既存の商品を加工したり、粘土やボール紙、発泡スチロールなどで商品模型を工作したり、場合によってはレーザー加工機のようなデジタルファブリケーションと呼ばれる機材を使用するなどさまざまな方法があります。大切なのは、サイズ感やアイデアのイメージを直接表現することです。このように、グループメンバーやカインズの社員の方々とともにイメージを具現化することで、さまざまな視点や意見、発想が出てくることを狙いとしています。

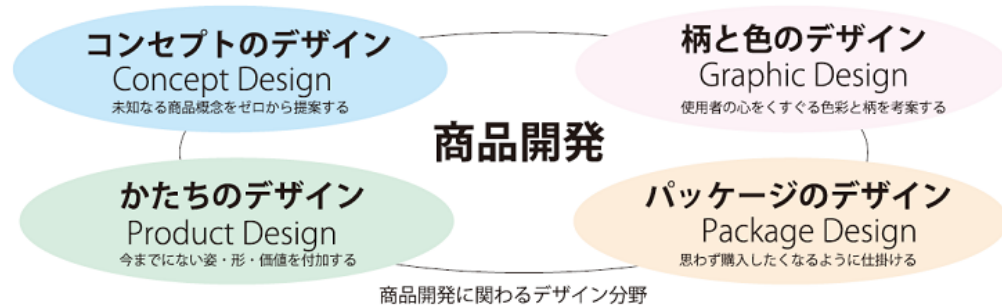
商品の企画にあたっては、商品開発現場の最前線で活躍するカインズの社員の方々と議論を深める中で商品開発のプロセスや売れるか売れないかの肌感覚（顧客の思考）などを学び取りながら、実現性の高い商品企画へと洗練させていきます。また、アイデアの具現化にあたっては、西早稲田キャンパスにある「WASEDA ものづくり工房^{*}」において、ものづくりに関する様々なサポートを受けることができます。

本プログラムは2013年度から実施しており、今年度で6年目の実施となりますが、過去には実際に学生の皆さんが企画したアイデアが商品化された例もあり、現在も商品化に向けて検討が進められているアイデアもあります。「プロフェSSIONALの現場の商品企画を体験してみたい！」、「自分のアイデア・企画を商品にしてみたい！」、「ものづくりを通じて自分のアイデアをカタチにしてみたい！」といった皆さんのご応募をお待ちしております！

プロフェッショナルズ・ワークショップとは

企業が実際に直面している課題について、早稲田大学の学生がチームを組んで、課題解決に取り組みます。プロフェッショナルズの指導、監修のもと、課題抽出・分析・フィールドワーク・グループワークなどを通じて具体的提案を導き出し、最終報告では経営トップに対し提案を行います。通常の就業体験インターンシップとは異なる、実践型の社会連携教育プログラムです。

◇ 商品企画のイメージ



「あなただけの個人的な発想が、
実は凄いことかもしれません。」

「文理は関係ありません。
自由な発想があれば十分です。」

「生活のちょっとした疑問が
新しい製品のきっかけに。」

「製品が生まれる仕組みが体験できる
体験型のプロジェクトです。」

◇ ワークショップの風景



社員の方とのディスカッションにより、アイデアの実現性を高めていく



アイデアを手に取ることで発想を広げる（新商品提案会の様子）

◇ 商品化の実績



カインズと早稲田大学の産学連携プログラムから、「3ドットルーズリーフ」と「ノートデータをデータ化できるルーズリーフケース」が商品化されました。

（株式会社カインズ プレスリリース／2016年1月12日）

株式会社カインズ（埼玉県本庄市）は、早稲田大学と産学連携している「C & Wプロジェクト」にて、学生の多くが生活の中で感じる“プチイラ”に向き合い、学生が日頃使用するルーズリーフに着目し「こうだったらいいのにな」というアイデアを商品化した「3ドットルーズリーフ」と「ノートデータをデータ化できるルーズリーフケース」を、2016年1月8日（金）よりカインズ全店で販売をスタートしました。

[参考]

WASEDA ものづくり工房 HP : <http://www.koubou.sci.waseda.ac.jp/index.html>

昨年度までのプロジェクトの様子 : <http://www.koubou.sci.waseda.ac.jp/event/CWproject.html>

募集概要

募集期間	2018 年 6 月 16 日（土） 12:00 ～ 6 月 21 日（木） 17:00 [期間厳守]
募集対象	早稲田大学に所属する正規学部生・大学院生（修士課程）（学部、専攻、学年問わず）
募集人数	20 名程度
応募/選考方法	以下の手順で申請してください。 a) https://goo.gl/FxdCkr にアクセス b) MyWaseda にログイン c) 「2018 年度プロフェッショナルズ・ワークショップ応募フォーム」から「申請」をクリック d) 必要事項（志望理由 400 字、面接選考希望時間など）を入力して申請
選考方法	① 書類選考：志望理由をもとに選考します。 書類選考通過者には、面接日時を Waseda メールにて通知します。 ② 面接選考：面接内容をもとに総合的に選考します。 面接選考の結果は、6 月 28 日（木）までに Waseda メールにて通知します。
注意事項	① 当ワークショップは一般授業とは扱いが異なります。成績評価・単位認定等はありません。 ② 各種 MTG、報告会等は「株式会社カインズ本部（早稲田大学本庄キャンパスに隣接）」を中心に行います。なお、カインズ本部へは西早稲田キャンパスよりバスにて移動する予定です。（交通費負担はありません） ③ 早稲田大学内での MTG、打ち合わせ等は「西早稲田キャンパス ものづくり工房」を中心に行います。 ④ 募集要項に記載されている日程は、ワークショップの進捗状況に応じて増減する可能性があります。また、募集要項に記載されているスケジュール以外にも、自主的にミーティングやグループワーク、試作品の製作などに時間を費やすこととなりますので、スケジュール管理にはご注意ください。 ⑤ ワークショップ実施日と重複する授業を欠席した場合も、公欠扱いにはなりません。 ⑥ プロフェッショナルズ・ワークショップは複数（第 2 希望まで）のワークショップに申請することができますが、最終的に参加できるのは 1 つのみです。当ワークショップを第 1 希望として申請し、選考を通過し参加が決まった場合は、その時点で第 2 希望のワークショップには参加できなくなります。 ⑦ 選考結果に関する問い合わせにはお応えできません
問合せ先	プロフェッショナルズ・ワークショップ担当 メールアドレス：propro@list.waseda.jp

ワークショップスケジュール（予定）

イベント	日程（候補） / 場所	概要
キックオフMTG	6月30日（土） @カインズ本部（本庄）※1	○ 課題の提示とPJの進め方を確認 ○ 商品開発、デザイン、コンセプト設計の基本を学習 ○ 店舗を見学し、商品から新アイデアを考案 ○ 商品開発の現場から「本物」を体感
合同 オリエンテーション	7月7日（土） 10:00 - 16:00 @早稲田大学（早稲田キャンパス）	○ プロプロ共通のオリエンテーション ○ ビジネスマナー、発想法などの講義 ○ カインズWS個別のグループワーク
中間MTG①	8月10日（金） @カインズ本部（本庄）※1	○ カインズ社員によるレクチャー 「商品開発全体の流れ、具体的な事例紹介」 ○ アイデアについての意見交換
グループワーク①	8月23日（木） 13:00-15:00 @早稲田大学（西早稲田キャンパス）	○ アイデア報告会に向けたディスカッション （グループごとに学生が主体的に活動する会）
グループワーク②	8月30日（木） 13:00-15:00 @早稲田大学（西早稲田キャンパス）	○ アイデア報告会に向けたディスカッション （グループごとに学生が主体的に活動する会）
アイデア報告会	9月7日（金） @カインズ本部（本庄）※1	○ アイデアをポスターセッション形式で発表 ○ アイデアについての意見交換・絞り込み
試作品制作 講座	9月12日（水） 9:00-12:00 @早稲田大学（西早稲田キャンパス） ものづくり工房	○ 工房スタッフから試作品制作の基礎をレクチャー ○ 材料加工、工作の方法 ○ 工作装置・器具の使い方
中間MTG②	10月6日（土） @カインズ本部（本庄）※1	○ カインズ社員によるレクチャー 「知的財産（商標、特許等）の取扱い」 ○ 試作品についての意見交換
中間MTG③	10月27日（土） @カインズ本部（本庄）※1	○ カインズ社員によるレクチャー 「アイデアが行き詰った際の考え方」 ○ 試作品についての意見交換
新商品提案会	11月24日（土） @カインズ本部（本庄）※1	○ 新商品企画の発表、提案 ○ 提案商品企画に対する審査、表彰

※1 カインズ本部（本庄）で実施する会は、全て以下のスケジュールとなります

8:45 西早稲田キャンパス 集合

19:30 西早稲田キャンパス 解散

（カインズ本部へは貸し切りバスで移動します）

※2 黄塗（赤字）のイベントが特に重要な回となります

※3 9月以降も随時グループワーク、試作品の制作、相談の受付など、グループごとに活動する機会を設けます

以上